

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

下鴨支店（京都市左京区）にコミュニケーションロボットを設置 「S o t a」の実証実験に協力します！

京都銀行（頭取 土井 伸宏）では、岩手銀行、福井銀行とともに、株式会社 NTTデータが開発を進める顧客対応支援を目的とするコミュニケーションロボット「S o t a」の実証実験に協力しますのでお知らせいたします。「S o t a」の設置は地域金融機関として初めてとなります。

近年、目覚ましい発展を遂げる人工知能やロボティクス技術は、さまざまな分野での活用が検討されています。地域金融機関においてもこれらの活用を推進するため、今回の実証実験では、コミュニケーションロボット「S o t a」が店頭で行うお客様との対話を通じて各地域の特性や特色を把握するための情報を収集し、お客様への対応力やマーケティング活用等による利便性の向上を目指します。

当行では、最先端の技術を積極的に取り入れ、お客様に支持されるサービスの提供に取り組んでまいります。

記

1. 当行での設置店舗

京都銀行 下鴨支店（京都市左京区下鴨本町 2 5）

2. 実証実験内容

下鴨支店の店舗ロビーや窓口カウンターなどの顧客対応エリアに設置する「S o t a」は、来店されたお客様と預金やローン、預かり資産の簡単な商品紹介などの対話を行います。株式会社 NTTデータでは、「S o t a」が顧客対応を通じて得た、地域の特性や特色を把握するための対話情報を収集・分析し、対話精度の向上や活用シーンの検討を進めていきます。

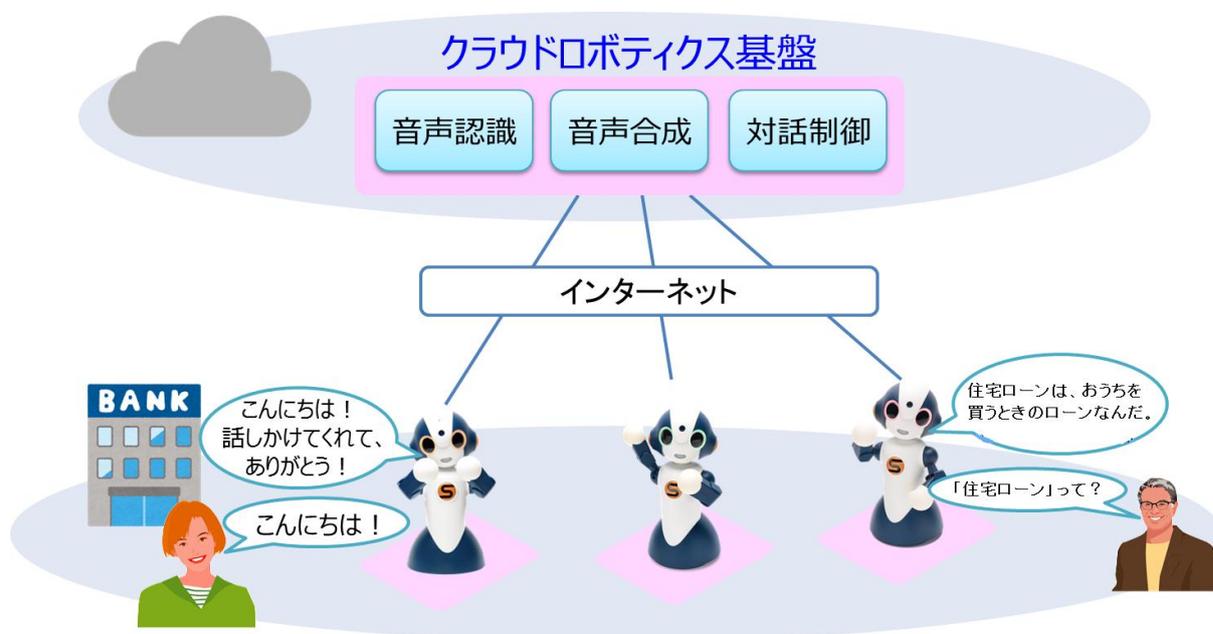
※「S o t a」は、日本電信電話株式会社、株式会社 NTTデータとともに、「センサーとロボットを連携させた『人の可能性を広げる』新たなサービスの実現に向けた共同実験」を行うヴイストン株式会社の商標です。

3. 実施時期

平成 2 8 年 5 月中旬頃から 8 月 3 1 日（水）まで



【コミュニケーションロボット「Sota」の利用イメージ】



※クラウドロボティクス基盤とは、株式会社 NTTデータが研究開発を進める、ロボット単体に限らず、ほかのロボットや複数のセンサーデバイスを連携させて、利用者や環境状況を正しく認識し、高度な知的処理を行う基盤。

以 上